

令和3年度
学校関係者評価報告書

令和4年3月22日

学校法人 都城コア学園
都城リハビリテーション学院

令和3年度 都城リハビリテーション学院 学校関係者評価報告書

都城リハビリテーション学院では、学校運営や教育活動等の現状を点検して、更なる改善・向上を図るため、自己評価に取り組み、「令和3年度都城リハビリテーション学院自己評価報告書」を取りまとめました。

そして、この自己評価報告書をもとに、関係団体の代表者・有識者や臨床実習指導者の方々から構成される学校関係者評価委員会を令和4年3月18日に実施して、学校運営や教育活動等について、貴重な御指導・御意見をいただきました。ここに、「学校関係者評価」の内容について報告いたします。

評価委員の皆様方には感謝申し上げますとともに、全職員一丸となって改善に取り組み、教育水準の更なる向上を目指して参ります。

今後とも、引き続き一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

令和4年3月22日

学校法人 都城コア学園
都城リハビリテーション学院
学院長 吉元 洋一

1 「学校関係者評価」の実施方法について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に沿って実施した。学校教育や理学療法についての高い見識を有する3名の評価委員（委員一覧表）に評価していただいた。

評価委員からの指導・意見は、学院長・学科長が承り、その内容等を要約の上、報告書として取りまとめた。

自己評価報告書と併せて御覧ください。

2 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	関係機関・団体・企業等	職名	備考
迫田 勇一郎	一般社団法人 宮崎県理学療法士会	副会長	委員長
柚木 直也	一般社団法人 宮崎県理学療法士会	理事	
福永 誠司	一般社団法人 藤元メディカルシステム 藤元総合病院 リハビリテーション室	室長	

3 委員会次第

- (1) 開 会
- (2) 学校状況報告
学生による授業評価や学生数などの学校状況を報告する。
- (3) 協議・意見交換
迫田委員長の司会進行で、自己評価報告書の項目ごとに、概要説明・質疑応答の後、御指導・御意見をいただいた。
- (4) 閉 会

4 協議・意見交換（指導・意見）について

- (1) 「自己評価報告書」を踏まえた本学院の取り組みについて、各項目の課題及び今後の改善方策について説明を行い、以下のような御指導・御意見をいただいた。

[教育目的（教育理念）・教育目標・育成人材像]

- ・地域に根差した教育理念を掲げているので、卒業後も地元就職するような取り組みを行ってください。
- ・地域医療について、卒業後に医療機関等で働いて経験を積んだ後に進む学生が多いが、学校教育の中で地域理学療法への興味・関心を持てるような指導を行って欲しい。
- ・カリキュラムの中に「地域理学療法学」という科目があるため、その中で地域の理学療法士による講義等も企画していく。

[学校運営]

- ・オンライン会議システムを用いて、全国のグループ校と定期的に情報交換を行っている。内容は、学内実習や国家試験対策の取り組み、学生指導に難渋するケースの対応方法についてディスカッションを行っている。

[教育活動]

- ・今年度は、オンライン講義をどの程度行ったか。
- ・R3年5月に2週間程度とR4年1月上旬に1~2週間のオンライン講義を行っている。
- ・都城市介護保険課や健康保険課と連携しフレイル予防事業等を積極的に行って欲しいと思うが学校としてはいかがか。
- ・都城市役所と連携をしてフレイル予防事業等の事業を展開していく事は重要であると考えている。この件については、市担当者と協議をしていく。

[教育成果]

- ・臨床実習にくる学生をみると、学年間での先輩後輩の繋がりが強いように思うが、学校でどのような取り組みを行っているのか。
- ・自治会活動を通して、学年を超えた繋がりが持てるようにしている。
- ・臨床実習にくる学生は、学内実習や OSCE により、ある程度の知識・技術を備えていると思われるので、今後も継続して取り組みを行って下さい。

[学生支援]

- ・コロナ禍で保護者との連絡は、どのようにとっているのか。
- ・電話連絡を基本としているが、3者面談やオンライン会議システムを用いた面談等も行っている。

[教育環境]

- ・特に指導・意見はなかった。

[学生募集と受け入れ]

- ・令和4年度募集は、定員を超える志願者があり

[財務]

- ・特に指導・意見はなかった。

[法令等の遵守]

- ・特に指導・意見はなかった。

[社会貢献・地域貢献]

- ・令和4年度も引き続き、地域の病院との共同研究や研修会等も積極的に行って欲しい。
- ・学生も参加するような取り組みを引き続き行っていく。

5 閉 会

終わりに、学院長が貴重な御指導・御意見に対するお礼の挨拶を行い、頂いたご意見を真摯に受け止め、学校発展のために努力していくと挨拶を行った。